



▼緑川へ排水するポンプやホースの設置手順を確認する建設業協会の皆さん



この訓練は、町内の建設業者12社で構成される同協会が、梅雨を前に内水氾濫の被害を最小限に抑えるために実施。参加者らは、大規模な浸水に備えて、排水ポンプやホースを設置し、緑川へ排水する手順を確認しました。

同協会では、災害協定に基づき町と連携しながら地域の安全確保に努めています。

## 災害から地域を守る建設業

甲佐町建設業協会が排水訓練を実施

5月20日（金）甲佐町建設業協会（山形學會会長）の18人が、昨年12月に完成した下横田排水ポンプ場で排水訓練に汗を流しました。

この排水施設は、大雨で内田川が増水し、住宅地の排水が妨げられることで発生する内水氾濫により、住宅の浸水や周辺道路の冠水といった被害が起こるのを軽減するため町が整備。町水道管理センターにほど近い緑川の堤防そばに作られたこの施設には、可動式ポンプ4台が備え付けられており、氾濫の危険が高まった場合に活用されます。

## いのちの種をつなぐ

龍野小学校で「人権の花運動」伝達式

5月19日（木）龍野小学校で、「人権の花運動」の伝達式が行われました。

この取り組みは、子どもたちが協力して花を育てることによって生命の尊さを学び、優しさと思いやりの心を育むことを目的に町教育委員会が実施。本町の人権擁護委員と協力しながら、収穫した花の種を次の学校の子どもたちにつなぐことで人権を守ることへの理解を深めます。

乙女小児童が育てた花の種は、龍野小の子どもたちの手で大切に植えられました。



▲熱心に花の種を植える龍野小の子どもたち



◀西山健治さんから商品を購入する園児

## 移動販売がやってきた！

若草保育園の園児が買い物体験

5月26日（木）移動販売車が若草保育園を訪れ、園児50人が買い物体験を楽しみました。

この体験会は、園から寄せられた要望をきっかけに、移動販売車「とくし丸」が協力して実現。子どもたちは食事会の材料として野菜やお肉を購入しました。

甲斐袖妃ちゃん（下豊内区）は「はじめての体験で楽しかった。またお買い物したい」と笑顔で答えました。

移動販売車を運行する西山健治さんは「保育園での販売は、はじめて。小さなお客さんにも移動販売に親しんでもらえたらうれしい」と話しました。

## アユ釣り愛好家集まる

6月1日アユ釣りが解禁

6月1日（水）緑川を含む県内河川でアユ釣りが解禁となりました。

アユ釣りのポイントとして知られる緑町の中甲橋グリーンパーク付近には、この日を待ちわびた釣り人や愛好家などが集まり、思い思いに竿をふるいました。

甲佐の夏の風物詩である緑川のアユ釣りの風景は、秋ごろまで楽しめます。また同日、やな場では3年ぶりに営業が再開。久しぶりのやな場でアユ料理を堪能しようと町内外から多くの人々が訪れ、にぎわいをみせました。



▲中甲橋付近の緑川でアユ釣りを楽しむ釣り人



◀収穫した梅を選別する参加者の皆さん

## ちぎりたての梅をお届け

坂本梅林で梅ちぎりを実施

5月29日（日）上揚の坂本梅林で、宮内梅ちぎりが行われました。宮内地区の伝統を継承するためNPO法人「自然樂舎みやうち」（境国嗣代表）が主催。例年は、宮内梅まつりとして地域住民や町外からの参加者が加わるこの行事も、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小。昨年に引き続き、関係者ら約10人で実施しました。

参加者は、手作業で一つずつ丁寧に収穫し、葉や枝を取り除き選別。袋詰めされた約50キロの梅は、地域住民などに届けられます。

## ジャガイモたくさん掘れた！

令和4年度乙女小「まつやま塾」が開講



▲まつやま塾が管理する畑で、地域の指導者と共にジャガイモ掘りに熱心に取り組む子どもたち

6月10日（金）令和4年度まつやま塾が開講しました。

乙女高齢者福祉センターで行われた開講式では、指導者の紹介や活動での注意点などの説明があり、参加者は真剣な表情で耳を傾けました。

同塾は、地域社会で子どもたちを育むことを目的に住民の協力を得て、町教育委員会が平成20年から放課後に開講。ソーメン流しや竹とんぼ作りなどの体験活動を計画し、主に毎週水・金曜日に同小学校を中心に年間40回程度、活動を行います。

開講式後、参加した18人は町から委嘱を受けた地域の指導者の教えの下、同塾が管理する畑でジャガイモの収穫を体験。子どもたちは一生懸命に土を掘り起こし大きく育ったジャガイモを次々と収穫しました。

山崎湊斗さん（乙女小6年・津志田区）は「こんなに土の中にジャガイモが育っていることに驚いた。肉じゃがやカレーにして食べたい」と話しました。